

大多喜浄水場  
水質検査業務委託

特記仕様書

令和8年度

## 第1章 総則

### 1 適用範囲

本仕様書は、委託者が委託する次の業務（以下「本業務」という。）に適用する。

- (1) 委託業務番号 浄委2026第1号
- (2) 委託業務名 大多喜浄水場水質検査業務委託
- (3) 委託業務場所 千葉県夷隅郡大多喜町小谷松500番地 大多喜浄水場
- (4) 履行期限 令和8年4月1日から令和9年3月31日

### 2 業務目的

本業務は、供給水等が「水質基準に関する省令」（平成15年厚生労働省令第101号）により定められた基準値に適合するものであるか、また、厚生労働省健康局長通知「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等について」（平成15年10月10日付健発第1010004号）により定められた水質管理目標設定項目について目標値を満足するものであるか検査することを目的とする。

なお、記載されている省令及び通知は最新の改正版を適用すること。

### 3 法令等の遵守

受託者は、本業務の実施に当たり、関係法令を遵守しなければならない。

### 4 守秘義務

受託者は、業務の遂行上知り得た事項を第三者に漏洩してはならない。

### 5 再委託の禁止

受託者は、本業務を他人に再委託してはならない。ただし、機器の故障により、速やかな検査を実施することが困難となった場合に限り、委託者の承認を得た上で再委託することができる。

### 6 安全管理

- (1) 受託者は、本業務に係る事故の防止と安全確保のための必要な措置を講じること。
- (2) 本業務施行中、交通の妨害となる行為又は公衆に迷惑を及ぼす行為がないよう、交通及び保安上十分な注意を図ること。
- (3) 本業務施行中に事故が発生したときは、直ちに業務を中断して応急処置を講じるとともに、事故の原因、経過及び被害内容、事後処置を委託者に報告すること。

### 7 疑義の処理

受託者は、業務遂行上必要と認められるもので、本仕様書の解釈に疑義が生じた事項及び本仕様書に明記していない事項については、委託者が定める業務監督職員と協議し、その指示に従うこと。

### 8 提出書類

- (1) 着手届（契約日）
- (2) 業務責任者選任通知書（業務経歴書添付）（契約後10日以内）
- (3) 業務責任者が委託者に所属することを証する公的書類<sup>※</sup>の写し（雇用の確認）（契約後10日以内）

※（例）健康保険証（所属会社の判るもの）、標準報酬決定通知書等

- (4) 業務計画書（契約後10日以内）

業務計画書の記載内容は次の構成を原則として作成しなければならない。

- ア 業務内容（目的・概要）
- イ 業務工程表
- ウ 検体運搬ルート図
- エ 緊急時連絡体制表

- (5) 水道法第20条の登録機関として登録されている番号を表示したもの（契約後10日以内）

- (6) 水道GLP又はISO/IEC 17025の認定証（契約後10日以内）
  - (7) 環境省外部精度管理結果書（契約後10日以内）
  - (8) 内部精度管理実施状況報告書（契約後10日以内）
  - (9) 標準作業手順書（委託検査項目に関するもの）（契約後10日以内）
  - (10) 妥当性評価書（委託検査項目のうち水質基準項目に該当するもの）（契約後10日以内）
  - (11) 打合せ議事録（必要に応じて）
  - (12) 検査結果報告書
  - (13) 業務完了報告書
- 9 業務の指示及び監督  
受託者は、業務監督職員と密接な連絡をとり、その指示及び監督を受けなければならない。
- 10 業務完了  
業務の完了は、後述の「第2章 業務内容」による全ての検体について検査結果報告書の提出が完了し、委託者に確認を受けたときとする。
- 11 軽油  
本業務で使用する軽油については、JIS規格軽油を使用しなければならない。また、受託者は県税事務所がその他の機関と合同で行う建設機械及び本委託に係る車両等を対象とする燃料の抜取調査に対して協力しなければならない。
- 12 薬品の使用  
受託者は、薬品を使用する場合は、安全データシート（SDS）等を確認するとともに、必要に応じて保護具の使用や危険性、有害性の低いものに替えるなどの低減措置を実施すること。
- 13 業務委託料の支払方法  
業務委託料の支払いは、業務完了後の1回払いとする。

## 第2章 業務内容

### 1 検査項目、検体の種類及び検体数

#### (1) 検査項目

- ア ペルフルオロ（オクタン-1-スルホン酸）（別名PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（別名PFOA）（以下「PFOS及びPFOA」という。）
- イ 陰イオン界面活性剤
- ウ 非イオン界面活性剤
- エ フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）
- オ 農薬類（※）

※「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等について」（平成15年10月10日付け健発第1010004号別添2（最新の改正版を適用）農薬類（水質管理目標設定項目15）の対象農薬リストに記載されている項目

#### (2) 検体の種類

- ア 原水：大多喜浄水場原水のこと
- イ 浄水：大多喜浄水場浄水のこと
- ウ 供給水：各受水団体への供給水のこと

#### (3) 委託期間内の検体数

検査項目	原水	浄水	供給水	合計
PFOS及びPFOA	4検体	4検体	68検体	76検体
陰イオン界面活性剤	4検体	4検体	68検体	76検体
非イオン界面活性剤	4検体	4検体	68検体	76検体

フタル酸ジ（２－エチルヘキシル）	4 検体	4 検体	4 検体	1 2 検体
農薬類	2 検体	2 検体	—	4 検体

## 2 検査項目及び日程

- (1) 検査項目等は別表に示すとおりとする。
- (2) 詳細な日程については、業務監督職員と受託者が協議の上決定する。

## 3 検体の採水及び運搬

### (1) 採水容器の準備

- ア 採水容器は受託者が準備し、検査実施日の前日までに委託者に届けるものとする。
- イ 採水容器の洗浄については、受託者の責任において十分に行う。

### (2) 採水

採水は委託者が行い（午前８時から午後１時頃に実施）、大多喜浄水場にて受託者に引き渡す。

### (3) 検体の運搬

- ア 大多喜浄水場から検査機関までの検体の運搬は受託者が行う。
- イ 委託者から受託者への検体の引き渡し時刻は、採水当日の午後３時頃とする。
- ウ 検体はクーラーボックス等に入れ氷冷し、破損防止の措置を施して運搬すること。

## 4 検査方法等

### (1) 検査方法

- ア PFOS及びPFOA、陰イオン界面活性剤、非イオン界面活性剤の検査方法は、「水質基準に関する省令の規定に基づき環境大臣が定める方法」（平成１５年７月２２日厚生労働省告示第２６１号（最新の改正版を適用））により行う。
- イ フタル酸ジ（２－エチルヘキシル）の検査方法は、「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等並びに水道水質管理における留意事項について」（厚生労働省健康局水道課長通知 平成１５年１０月１０日付健水発第１０１０００１号（最新の改正版を適用））により行う。
- ウ 農薬類の検査方法は、「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等並びに水道水質管理における留意事項について」（厚生労働省健康局水道課長通知 平成１５年１０月１０日付健水発第１０１０００１号（最新の改正版を適用））により行う。なお、前述の通知により標準検査方法が確立されていない農薬類については、「水道水質検査方法の妥当性評価ガイドライン」（厚生労働省健康局水道課長通知 平成２４年９月６日健水発第０９０６第４号（最新の改正版を適用））に基づいた検査方法により行うことを原則とする。

### (2) 数値の取扱い

検査における数値の取扱いは、「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等並びに水道水質管理における留意事項について」（厚生労働省水道課長通知 平成１５年１０月１０日健水発第１０１０００１号（最新の改正版を適用））に基づき実施する。

## 5 速報値の報告

- (1) 受託者は、PFOS及びPFOA、陰イオン界面活性剤、非イオン界面活性剤、フタル酸ジ（２－エチルヘキシル）の検査結果速報値を検体の受取り後、原則７日以内に委託者に報告しなければならない。
- (2) 受託者は、農薬類の検査結果速報値を検体の受取り後３０日以内に委託者に報告しなければならない。
- (3) 受託者は、以下に掲げる検査結果を得た場合は、直ちに委託者に報告しなければならない。

検査項目	検体の種類	結果
P F O S 及び P F O A	原水、浄水、 供給水	基準値の 1 / 1 0 以上の値が検出されたとき
陰イオン界面活性剤	原水、浄水、 供給水	基準値の 1 / 1 0 以上の値が検出されたとき
非イオン界面活性剤	原水、浄水、 供給水	基準値の 1 / 1 0 以上の値が検出されたとき
フタル酸ジ（２－エチルヘキシル）	原水、浄水、 供給水	目標値の 1 / 1 0 以上の値が検出されたとき
農薬類	浄水	目標値の 1 / 1 0 0 以上の値が検出されたとき

## 6 再検査

委託者は、検査結果等に疑義が生じた場合は、受託者に再検査を指示することができるものとする。

## 7 検査結果報告書の作成

- (1) 受託者は、P F O S 及び P F O A、陰イオン界面活性剤、非イオン界面活性剤、フタル酸ジ（２－エチルヘキシル）の検査結果を検体の受取り後 3 0 日以内に検査結果報告書により委託者に報告しなければならない。
- (2) 受託者は、農薬類の検査結果を検体の受取り後 4 5 日以内に検査結果報告書により委託者に報告しなければならない。
- (3) 検査結果報告書には、検査結果、基準値又は目標値、定量下限値及び検査方法を記載する。
- (4) 検査結果報告書のほか、作業記録、分析日時及び分析を実施した検査員を示した資料、分析条件、検量線（相関係数も含む）、クロマトグラム並びに濃度計算書等を添付する。

## 8 検査結果の信頼性確保

受託者は、次の各項目に留意して検査結果の信頼性確保に努め、委託者が求めた場合はその記録を速やかに提出しなければならない。

- (1) 水質検査結果は、検査責任者等によるチェックを行い、記録する。
- (2) 分析に使用する器具、機械及び装置について、その使用に支障がないように整備し、記録する。
- (3) 検体の保存期間は、検査結果報告書発行後 1 4 日以上とし、廃棄日を記録する。
- (4) 検査結果を得るための記録類は、その保存期間の短縮について委託者の指示又は了解があった場合を除き、5 年間保存とする。
- (5) 上記(1)～(4)の事項及び設備状況等について確認するため、委託者は受託者への立入検査を随時実施できるものとする。

## 9 臨時の水質検査

- (1) 受託者は、委託者から「第 2 章 1 (1)」に定めた検査項目について臨時の検査依頼があった場合は、休日・夜間を問わず速やかに対応しなければならない。
- (2) 前項による臨時の検査に係る費用は、委託者と受託者協議の上決定する。

別表 検査項目及び日程

実施月	検体回収回数	P F O S 及び P F O A	陰イオン 界面活性剤	非イオン 界面活性剤	フタル酸ジ (2-エチル ヘキシル)	農薬類
4月	1回目	4検体	4検体	4検体	—	—
5月	1回目	6検体	6検体	6検体	3検体	2検体
	2回目	4検体	4検体	4検体	—	—
6月	1回目	5検体	5検体	5検体	—	—
7月	1回目	4検体	4検体	4検体	—	2検体
8月	1回目	6検体	6検体	6検体	3検体	—
	2回目	4検体	4検体	4検体	—	—
9月	1回目	5検体	5検体	5検体	—	—
10月	1回目	4検体	4検体	4検体	—	—
11月	1回目	6検体	6検体	6検体	3検体	—
	2回目	4検体	4検体	4検体	—	—
12月	1回目	5検体	5検体	5検体	—	—
1月	1回目	4検体	4検体	4検体	—	—
2月	1回目	6検体	6検体	6検体	3検体	—
	2回目	4検体	4検体	4検体	—	—
3月	1回目	5検体	5検体	5検体	—	—
合計	検体回収回数 16回／年	76検体／年	76検体／ 年	76検体／ 年	12検体／年	4検体 ／年